

あおぞら21



6月定例会

29年7月31日

No.118

熊本・みふね町議会

- 工事請負契約4件を可決。震災からの復旧へ。(6月会議) …… 2
- 企業誘致のための戦略的取り組みとは何か(一般質問) …… 5

表紙：宮部鼎蔵記念碑の修復工事が秋市「熊本被災地支援の会」からの義援金、クラウドファンディングによる支援金、上野地区住民の寄附金によって平成29年3月28日に完了しました。

工事請負契約4件を可決。震災からの復旧へ

6月会議を8日から13日まで開催した。

専決4件、また補正予算、工事請負契約など議案等14件を審議採決した。

6月議会で決まったこと（6月8日～13日）

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
報告1	専決処分の報告について	税条例、国保税条例、減免条例	有	報告
報告2	専決処分の報告について	損害賠償額の決定	無	報告
報告3	繰越明許費繰越計算書について	繰越した事業の計算書	無	報告
報告4	事故繰越し計算書について	繰越した事業の計算書	無	報告
議案6	工事請負契約の締結について	向山小迫谷線 ^① 道路災害復旧工事	無	全会一致で可決
議案7	工事請負契約の締結について	普通河川 五ヶ瀬川 ^② 河川災害復旧工事	無	全会一致で可決
議案8	工事請負契約の締結について	準用河川 水越川 ^⑤ 河川災害復旧工事	無	全会一致で可決
議案9	工事請負契約の締結について	スポーツセンター震災復旧工事	無	全会一致で可決
議案10	御船町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	ひとり親世帯、多子世帯等の経済的負担の軽減	有	全会一致で可決
議案11	御船町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	適用範囲の拡充	無	全会一致で可決
議案12	平成29年度御船町一般会計補正予算(第1号)について	熊本地震等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 15,818,577千円	有	全会一致で可決
議案13	平成29年度御船町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	備品購入に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 2,806,055千円	無	全会一致で可決
議案14	平成29年度御船町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	計画策定等に係る補正予算 予算総額 歳入歳出 1,771,494千円	有	全会一致で可決
議案15	平成29年度御船町水道事業会計補正予算(第1号)について	工事関連等に係る補正予算 予算総額 資本的収入及び支出 収入 102,115千円 支出 216,244千円	無	全会一致で可決
同意1	御船町教育委員会の委員の任命について	中熊英昭氏を任命	無	全会一致で可決
同意2	御船町教育委員会の委員の任命について	竹下紀一氏を任命	無	全会一致で可決

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
諮問 1	人権擁護委員の候補者の推薦について	北本君江氏を推薦	無	全会一致で 可決
陳情 1	万ヶ瀬区農道の町道編入について (陳情書)	万ヶ瀬区農道の町道編入	無	全会一致で 採択

29年度一般会計補正予算

委託費が極めて多い

沖議員 委託費の説明を。

坂本企画財政課長 この委託費は中山間地の地域コミュニティ支援の計画書を作成するためのもの。

沖議員 職員が話し合いをしながらやったほうがよい。

坂本課長 職員だけでは無理な面があるので委託も行う。

岩永議員 例えば、天君ダム無線局、無線免許更新申請書作成委託料等に関しては職員でできないか。

藤野農業振興課長 申請書作成には専門知識も必要なので、外部へ委託している。

町道の安全確認は

沖議員 地震から半年も経つのに事故が起きている。町道の安全確認はやっていないのか。

松岡建設課長 荒瀬妙見坂線は、道路パトロールを行い、補修も随時行ってきたが事故が発生した。

岩永議員 町道の被災箇所の把握に漏れはないか。

松岡課長 被災箇所は事業費が60万円を超えるものでないと補助対象にならない。それ以外は今から集約し対応する。

岩永議員 片志和の町道に段差が生じていて事故につながる危険性が高い。確認をお願いしたい。

できたばかりの給食センターだが

沖議員 給食運搬車両の改良とは。

本田教育長 コンテナを搭載するところに不具合があった。

沖議員 1台35万円の改修費を町が払うということか。

本田教育長 大変申し訳ないが、今後のことを考えると修

理をせざるを得ない。

地域おこし協力隊とは

中城議員 地域おこし協力隊は何名いるのか。

坂本課長 現在2名、1人は田代東部地区に、もう1人が観光協会で活動されている。今回は新たに5名分の予算を計上している。

中城議員 活動報告は出してもらうのか。

坂本課長 実績報告を毎月1回、中間報告という形でレポートを出してもらっている。

田上議員 1人は観光協会ということだが何をやっているのか。

坂本課長 今は化石発掘体験のサポーター、それとガイドの育成を手伝っている。

田上議員 観光協会には補助金が出ているが、何に使っているのか。

作田課長 観光事業の運営や



3台の給食センター配送車

事務職員の賃金に使っている。
田上議員 観光協会には補助金を出し、新たに地域おこし協力隊を派遣している。

坂本課長 地域おこし協力隊の目的は、3年後に御船町の住民になり移住・定住を図ることだ。

田上議員 恐竜の化石発掘は町の事業か、観光協会の事業か。

作田課長 今は町の事業でやっているが、観光協会にスライドさせていく。

嘱託区再編がはじまる

福永議員 嘱託区再編の内容とその方向性の説明を。

坂本課長 地区説明会で了解を得られた地区で行う。水越の田畑と町と粒麦、3丁目と4丁目、水越の五ヶ瀬と馬立、有水と大内をそれぞれ1つの嘱託区にまとめたい。今後人口が減っていくと集落の維持が難しくなってくる。今回企画財政課の中にコミュニティ推進係を設置した。この部署

が嘱託区の再編問題に取り組む。

高木保育園は

中城議員 高木保育園の設置費用に土地代は含まれるのか。

野口こども未来課長 土地代は含まれない。

中城議員 国の補助金ということだが、国が2分の1、町が4分の1、だから、残りの4分の1は事業者負担ということではどうか。

野口課長 今言われたとおりで、事業所が4分の1を負担するという形である。あくまでも継続、補助対象に係る事業費なので、実際はこの事業費を上回る事業費ということになる。その分は事業者がまた多く負担するという意味合いになる。

中城議員 外構や駐車場などの整備があると思う。行政報告の中で、8月中旬には着工、来年2月頃は完成、4月開園には間に合うようにすること。よろしく願いたい。

防災行政無線は

田上議員 防災行政無線の今後のスケジュールはどうなっているか。

吉本総務課長 9月の議会あたりで最終的な契約、30年度内にシステムの整備を事業を含めて行う。平成31年4月からの運用開始となる。

中城議員 現在各嘱託区では、区民への情報連絡は有線放送を利用している。それは老朽化し聞こえも悪い。防災行政無線整備では区民への情報連絡ができる設計にお願いしたい。

吉本課長 有事の際は情報系の無線で一斉に情報を流さなければならないが、平時の際は、各地域、集落のほうで利用も可能になるような形にしたい。ただ、選定委員会の考え方、費用対効果の観点等から総合的に判断されていく。

中城議員 ぜひ、選考委員会でそういう意見が出ると思うけれども、そういう方向でぜひとも検討をお願いしたい。



登園する園児とその保護者（高木保育園）

Q企業誘致のための戦略的取り組みとは何か

A土地利用に係る基本方針を定めて推進する

中城峯雄 議員



一般質問

中城議員 策定された「御船町復興計画」にある「産業の発展～さかえる」について問う。

まず、農業関係で農業施設や農地の復旧状況はどうか。

藤野農業振興課長 農地災害復旧事業で609件の採択を受け、現在発注しているのが64件、発注率は10.5%、今後進捗状況を見ながら計画的に進めていく。

中城議員 震災で田植えができない圃場はどれくらいあるか。

藤野課長 中山間地域が約77ha、平坦地域で約11haとなっている。

中城議員 観光業の環境基盤の整備について、化石発掘を新たな産業に育て、町内にお金が落ちる仕組みを整えるということだが、どのような考えがあるのか。

作田商工観光課長 化石発掘体験と新たな雇用の創出、観光協会との連携や特産品の販売、町内の飲食店への誘導を図るために、恐竜博物館と飲食店の食事券がセットになった観光周遊チケットを開発し今後段階的に拡大していく。

中城議員 企業誘致の実績と今後の取り組みはどうか。

坂本企画財政課長 白岩産業団地に4件と高木地区に移転した企業1件、合計で5件。

中城議員 企業誘致プロジェクトチームで、御船町の地理的優位性を最大に生かし、企

業誘致に戦略的に取り組むとあるが、どのようなことをするか。

坂本課長 御船IC、小池高山IC、更に30年度に（仮称）上野ICが供用開始予定で、3つのインターチェンジを持つことになる。全国的に見ても、縦軸と横軸が交わる交通の要衝であり、このような自治体はそう多くないと思う。この優位性を最大限に生かし、住民の雇用を確保するために取り組んでいく。そのことが復興の後押しになると考えている。

中城議員 具体的にどうするか。

坂本課長 28年度にインター周辺等の土地利用に係る現状、課題の分析、今後の方向性をまとめたところ。この調査結果をもとに、町として企業誘致の基本方針を定め、インターチェンジによる土地利用や適地選定の検討をしていく。また必要に応じて、御船町都市計画マスタープランの改定

や御船町農業振興地域整備計画の改定も視野に入れ、関係課と十分協議し進めていく。

中城議員 小坂台地、高木台地の今後の利活用をどう考えているか。

坂本課長 御船町都市計画マスタープランを踏まえながら、今後利活用の検討を進めていく。まずは御船ICや小池高山IC周辺土地の有効活用策を考えたい。

中城議員 企業誘致を推進するにあたり、御船町土地開発公社を設置する考えはないか

坂本課長 土地開発公社の設置については、当面設置する考えはない。

中城議員 28年度御船町全体で426人が住民票を移して人口減少が顕著だ。

企業誘致や観光事業を推進して、将来に希望がもてる町づくりをしないと地域は疲弊するばかりだ。私たち議員も協力を惜しまないのでよろしく願います。



交通の要衝となった小池高山インター周辺



Q 財政運営の方針は？移住定住対策は？

A 知恵を絞り、町民力の向上を図る

福永 啓 議員

福永議員 昨年度、そして、今年度の予算は、例年より大幅に増えている。

増えた分は何に使っているのか。農業災害の届出件数及び、公共土木災害は例年に比べてどのようになっているか。

藤木町長 増えた分のほぼ全てが震災対応に関する費用である。逆に震災対応以外の予算は微減となっている。

藤野農業振興課長 熊本地震及びその後の豪雨災害による農業被害の届出件数は、3,125箇所である。過去10年を平均すれば年あたり約240箇所である。

松岡建設課長 過去10年を平均すれば60年分ぐらいの事業量があることになる。

福永議員 このような数字を見ても、熊本地震の災害がいかに未曾有の災害であるかがわかる。財政指数の悪化も懸念されるがどう考えているか。

坂本企画財政課長 ここ1～2年はさほどの影響はないと考えている。その後、以前行われた都市再生整備事業等の起債償還も大きなウエイトを占めるので、一時的な財政数値の悪化はあるものの、財政を大きく揺るがすようなものではないと考えているし、そもそもそのような財政運営をしてはならない。

福永議員 未曾有の災害が起こったのだから、私たち町民も我慢しなければならぬ部分は大きい。しかし、未来に希望が持てなければ、その我慢の原動力もなくなってくる。

どのような財政運営の方針で臨んでいくのか。ふるさと納税を始めとした自主財源の確保についてはどう考えるか。

坂本課長 お金がないので出来ない、震災対応で忙しくて出来ないは通用しない。今後、復旧・復興に当たっている様々な課題が出てくる。課題解決に必要な予算をどこから持ってくるのか、どう生み出すのか、予算を使わない方法はないかなど、いろんな角度から知恵を絞らねばならない。ふるさと納税についても、クラウドファンディングの手法を取り入れるなど、積極的に活用していきたい。

福永議員 震災により人口減少に拍車がかかっているが、移住・定住対策についてはどのように考えるのか。

藤木町長 制度の充実も必要だが受け入れる側の町民力も重要。町ができること、町民が出来ること、町と町民が共にやること、これらを総合して皆様と共に活気あるまちづくりを行いたい。

福永議員 被災によるピンチをチャンスに変え、素敵な町、魅力ある町作りを目指していただきたい。



地域住民と田植え（地域おこし協力隊）

Q町に実体法上の財産的損害を生じさせた責任者は A意思決定者は前山本町長



一
般
質
問

藤川 博和 議員

藤川議員 裁判の判決書 P61に、それぞれの財務会計上の行為ごとに検討を加えるとあるが、町から竹資源会社に支出した補助金の財務会計上の行為と、また町から財政調整基金を取り崩して国へ返還した財務会計上の行為のことが、書かれているのか。

坂本企画財政課長 言われたとおりだ。判決では、平成21年2月10日に2億円を支出した財務会計上の行為を本件支出1、そして、平成21年5月29日に9,279万3,000円を支出した行為を本件支出2、そして、平成23年1月31日に国に2億9,279万3,000円を返還した財務会計上の行為を本件返還として区分している。

藤川議員 ということは、財務会計上は区分されているが、竹資源会社への補助金と国へ返した基金は同一の金と考えてよいのか、その関連の金が収入未済額として決算書に金額が掲載されているのか。

坂本課長 そのとおりだ。

藤川議員 町から国へ返還された財政会計の経緯について、判決書 P60にある日時について質問する。

平成22年11月2日に九州農政局から返還の申し入れがあり、11月10日に、町は12月28日までに返還すると答えている。議会の承認なくして、執行部の誰の判断で返還日の回答が行われたのか。そして、財源はどこから出すつもりだったのか。

坂本課長 九州農政局より返還の期限が過ぎており、速やかに返還の手続きを進めるよう通知があったことから、国に対して、交付金の返還に向けてのスケジュールを立て、議会の承認を受けた場合の返還期日を当時の町長の判断で対処したものだ。財源についても、会社からの補助金の返還を充てるのが最良であると考えていたが、返還がない場合は財政調整基金を財源とすることもやむを得ないという考え方だったと思う。

藤川議員 そのときの日付、これが一番問題になるのではないかと思う。判決文には、御船町に実体法上の財産的損害が生じるのは、本件会社から補助金の返還を受けることなく、国に対して本件返還を行った時点、すなわち平成23年1月31日であると記載してあるが、この当時、財政調整基金を取り崩して国に対して返還することを決めた責任者は誰か。

坂本課長 最終的には基金の処分の職務にかかる意思決定者である、当時の町長ということになると思う。

藤川議員 当時の町長とは前山本町長のことか。前山本町長が基金処分の決定者であると言われたが、私もこの件については3回ほど一般質問で、基金からの支出の責任者を問うたが、やっと今回分かった。それで、前山本町長が国へ補助金の返還を指示し、返還した日、すな

わち平成23年1月31日から生じた町の財産的損害を、前山本町長に損害賠償として請求することはできるか。

坂本課長 今の請求に関することに関しては、弁護士に相談して検討したいと考えている。

藤川議員 今、課長が言ったように、この件の即答は無理だと思う。弁護士など詳しい人に聞かれて、いい結果がでるように、よろしく願います。

それから、平成22年11月29日、定例議会に補正予算が上程されたが、賛成8、反対6で可決された。先ほども述べたが、判決文には「御船町に実体法上の財産的損害が生じるのは、本件会社から補助金の返還を受けることなく国に対して本件返還を行った時点であるといえる。」と書いてあるが、財政調整基金を財源として国に返還する補正予算を可決した当時の議員にも責任があるのではないかと、ある議員の方が質問していたことがあったが、この辺はどう考えているか。返還自体に違法性はなかったのか。

坂本課長 まず、返還の違法性については、判決文においても、手続的違法について検討がなされている。手続的にも地方財政上においても違法性はないと、裁判所の判断が示されている。

次の、議員の責任については、私からは申し上げることはできない。



Q復興計画における恐竜博物館の位置づけは A観光の核として活性化につなげたい

森田 優二 議員

現在の恐竜博物館の運営は

森田議員 現在の恐竜博物館の運営は。

宮川社会教育課長 教育委員会の所管で行っている。昨年より2名減で厳しい運営である。

森田議員 商工観光課の管理が一部あると聞いたがどの部分か。

作田商工観光課長 1階の交流ギャラリーと2階の体験交流室である。特別展での使用が主である。

本物の化石はどれぐらいあるのか

森田議員 当町で見つかった化石はどれくらいか。

宮川課長 恐竜の化石は6種類、常設展示場入り口に展示している。

森田議員 今後、化石の発掘調査は行なうのか。

本田教育長 発掘調査はやりたいが、かなりの経費がかかる。国の補助金があるので条件を満たす整備を進め、申請・登録を進めていきたい。

森田議員 本物の化石がほとんどないレプリカだらけの博物館では、来館者も徐々に減っていく。発掘調査に対する町長の考えは。

藤木町長 当町で見つかった日本で初めての肉食恐竜の歯がレプリカであり本物ではない。今後は、発掘調査の再開も視野にいれ、更なる充実を図る。

町の活性化に博物館をどう生かせるのか

森田議員 恐竜博物館を小学校の社会科学習に推進するための、県への働きかけの進捗状況は。

本田教育長 去年は16校に増え今年度も期待をしている。7月には、鹿児島市内の小中学校の校長会で紹介し、県外からの来館者増を図りたい。

森田議員 数万人の来館者を町内へ回遊させ、町内でいかに遊ばせるかが一番の課題であり町の活性化にもつながる。関係者の会議が必要だと思うが。

本田教育長 今後関係各課、商工会、観光協会等と連携をとり回遊策を具体的に考えたい。

森田議員 博物館付近の再開発、町長の考えはあるのか。

藤木町長 少しずつだが環境整備等を行っていききたい。

復興計画における恐竜博物館の位置付けは

森田議員 復興計画における

恐竜博物館の位置づけは、どう考えているのか。

藤木町長 恐竜博物館を観光の核として町の活性化に努めたい。

森田議員 2月に北海道のむかわ町の穂別博物館に研修に行ったが、二枚貝の化石や直径1メートルぐらいのアンモナイトの化石が数多く発掘され展示してあった。今回は体長約8メートルの恐竜の化石が、ほぼ一体で見つかり展示されることになった。

課題が山積する恐竜博物館だと思うが、周辺の一部改修や化石発掘を再開し、レプリカだけでなく本物が並ぶ博物館に期待したい。町長の思いは。

藤木町長 恐竜の化石出現の可能性は高い。発掘調査は、今後博物館の活性化と観光には不可欠である。国の科学研究費助成事業等の公的な助成金申請の準備を進めたい。



アンモナイトの化石
（北海道むかわ町 穂別博物館）

給食センター視察（全体研修）

総務文教常任委員 清水 聖

6月16日（金）給食センター（試食）視察。

所長より説明を受けながら外周や配送車の不具合、室内の様子を視る。その後、栄養士からその日の献立の説明を受け試食を行った。

- 食器洗浄場が狭い（職員）。
- ドライ方式に慣れないので、とまどいがある（職員）。
- 食事については栄養バランスを考え献立にも創意工夫が見受けられる。
- アレルギー対応も良い。

安心・安全を第一に考え、日々奮闘している職員に感謝。早くドライ方式の調理場に慣れていただき、おいしい給食の提案を期待する。

委員の意見として

- 配送車は設計の段階からミスであり、納入会社と話し合う必要がある。
- 配送車の搬出入タラップは危険で事故が起こる前に改善する必要があるのではないか。
- 外周舗装もはがれている。手拔きの可能性がある。



給食を試食（給食センター）

万ヶ瀬区農道の町道編入

産業厚生副常任委員長 福永 啓

5月11日、6月8日産業厚生常任委員会を開催し万ヶ瀬区の町道編入に関する陳情について、審議した。各委員から道路幅員の確保が図られているとともに、住民の重要な生活道路としての役割を果たしている。町道に編入すべき。しかし町道に編入した場合は5年間補修できない。住民の要望は町道ではなく舗装を優先との希望がある。

よって農道のまま舗装してはどうかとの意見があった。

意見を取りまとめた結果、

町道編入及び舗装、2つの陳情内容があるため、町道編入に関しては町道編入することが適切と判断し採択するものとし、舗装に関しては、御船町町道編入及び認定に関する要綱第3条4項にある舗装しない期間、これのみにこだわることなく、同じく同町内にある緊急性や危険性等を十分に考慮し、執行部にお

いて舗装の適切な時期を判断するべきものとする決した。



現地調査の様子

かがやく



御船町のこれから

震災から一年以上が経ち、インターネット上でも、被災地と検索しても東日本のことばかりがでてきます。熊本県政の広報を見ると、阿蘇周辺に関することがメインとなっています。みなさん覚えていますか？ あの震災からの一ヶ月。忘れたい人もいるでしょうね。私は、認知症の人のグループホームを運営していて、10日間は、自宅に帰れませんでした。娘と主人は、地域の人と力を合わせ声をかけあい、車中泊やキャンプ暮らしのようなことをやっていました。

あの時間、いろんなことを経験しましたね。私もあの時一つ学びました。それは現状を分析し、社会に向けて、発信することの重要性です。たまには、目立つな！と言う人もいますが、必要な時に必要な発信は、重要です。さて、御船町を一つのファミリーに見立てるとどうでしょう？ 何が足りて、何が足りないのでしょうか？ このことをいち早く分析し、発信して行く。まずは、その力を身に付けたいですね。



滝川 高橋恵子さん
(介護サービス運営・ケアマネジャー)

議会の予定 8月

- 1日 視察受入(和歌山県みなべ町議会)
国道443号線整備期成会
- 2日 視察受入(岐阜県御嵩町議会)
- 3日 正副議長研修会
- 4日 全員協議会(予定)
- 7~9日 九州中央自動車道建設促進
沿線議会協議会提言活動
- 10日 議会(予定)
- 16日 上益城消防組合議会
中山間推進協議会
- 17日 九州中央自動車道建設促進協議会
- 18日 御船地区衛生施設組合議会
- 21日 御船町甲佐町衛生施設組合議会
- 22日 小川・御船間道路促進期成会
正副議長、議運、常任委員長研修
- 24~25日 九州中央自動車道
建設促進協議会要望活動
- 29日 一般廃棄物処理施設整備促進
協議会

編集後記

「朝倉24時間雨量1000ミリ」、これは7月15日付け新聞の見出しです。記録的な大雨が短時間に集中して降ったことを伝えていました。

繰り返される自然災害に私たちはどのように向き合ったらいいのでしょうか。

朝倉市の平榎地区(37世帯92人)では、5年前の豪雨によって被害を受けた経験から、近くを流れる小さな川の水位が独自の判断基準に達したとして、住民が声を掛け合って高い場所にある住宅に避難し、そのおよそ1時間後に濁流が地区を襲いました。住宅が流されたり、床上

まで浸水したりと大きな被害が出たものの全員無事だったそうです。この中に自然災害に向き合う術が示されているように感じます。

時節柄、お体には十分に留意してお過ごし下さい。

岩永宏介

議会広報編集特別委員会

- 発行責任者 | 田端 幸治
- 委員長 | 田上 忍
- 副委員長 | 岩永 宏介
- 委員 | 岩田 重成
- 委員 | 清水 聖
- 委員 | 中城 峯雄
- 委員 | 森田 優二